

KPMG

cutting through complexity

日本企業のメキシコへの投資

KPMGメキシコJapanese Practice



Japanese Practice

KPMGメキシコ



ギジェルモ・ガルシア・ナランホ
KPMGメキシコ CEO

KPMGメキシコは1946年に設立され、その長い歴史の中で日本企業へのサービス提供機会を享受してまいりました。

2004年に、KPMGメキシコは、日本とメキシコにおいてシームレスなサービス提供

を期待する日本企業からのニーズに直接お応えするため、Japanese Practice (日本企業支援部門) を設置しました。KPMGメキシコJapanese Practiceは、開設当初3年間、KPMGジャパンからの日本人駐在員1名体制でしたが、今日までに日本人駐在員4名体制に拡大し、在メキシコ大手会計事務所およびプロフェッショナルチームの中で、日本企業支援グループとしては最も早い成長を遂げてまいりました。

この度、KPMGメキシコJapanese Practiceが設立10周年を迎えることとなり、大きな喜びを感じています。これは、この10年間に於いて日本企業のクライアントの皆様が、ビジネスにおける2つの異なる文化や慣習を認め合い、融合させることにより、すべての成功の機会を創出し成し遂げてきた投資において、我々が「架け橋」としてお手伝いできたことを示すものと思っております。

この10年間、クライアントの皆様にご支援いただいたことを厚く御礼申し上げます。今後も、私どもの主要サービスラインである監査、税務、アドバイザーにおいて、よりこまやかなサービスを提供することをお約束するとともに、皆様と末永くかつ強い信頼関係を維持していくことを楽しみにしております。

また、これまでの間、KPMGメキシコとの連携におけるKPMGジャパンおよびKPMG Global Japanese Practiceの継続的な支援に対して感謝をするとともに、日本企業の成功に資するため今後も継続して協力関係を維持していく所存です。



マリオ・フェルナンデス・デバロス
KPMGメキシコJapanese Practice統括パートナー

この度、KPMGメキシコJapanese Practiceが10周年を迎えることとなり、この喜びをクライアントの皆様、常日頃ご最真にいただいている友人の皆様と分かち合えることを

とても幸せに感じております。

今日までとても長い道のりでしたが、振り返ってみますと、メキシコで事業展開するクライアントの皆様のビジネスの目的を成し遂げるため、手と手を取り合って共に歩んできた実りある道でした。

現在、KPMGメキシコJapanese Practiceには、KPMGジャパンから派遣された4名の日本人駐在員が在籍しており、全員が公認会計士です。彼らは、会計監査、税務、アドバイザーの各サービスラインに所属するメキシコ人のパートナー、ディレクター、マネジャー、その他プロフェッショナルで構成される各専門チームと連携して、日々日本企業の皆様を支援しております。この4名の駐在員はこれまでの10年間でKPMGメキシコに在籍した10名の日本人駐在員チームの一部であり、彼らの高い職業倫理感と献身的なサポートのおかげで、クライアントの皆様に対して、KPMGメキシコが有する様々なサービスを提供できたことに深く感謝しています。

日本企業の皆様や投資家の皆様にとって、メキシコは将来的に、ますます事業機会が増えていくことを確信しております。また、KPMGメキシコとKPMGジャパンは引き続き緊密に連携し、新規市場参入あるいは既存事業の拡大といった投資機会において質の高いサービスをご提供させていただく所存です。

皆様のメキシコにおけるビジネスの成功に貢献できる機会をいただきましたこと厚く御礼申し上げます。どうぞ今後ともよろしくご願ひ申し上げます。



内山 英世
KPMGジャパン CEO
GJPチェアマン

今から約40年前、KPMG GlobalとKPMGジャパンは、他の法人に先駆けて、日本企業の海外事業展開をこまやかに支援する部門の組織化を発案しました。

この日本企業の海外事業支援ネットワークであるKPMGグローバルジャパニーズプラクティスは、日本人及び日本語対応可能なプロフェッショナルを中心に、担当地域の各分野に精通した専門家チームと連携し、海外現地法人に対して、会計監査、税務、トランザクションサービス、フィナンシャルアドバイザーサービス、リスクアドバイザーサービス等の幅広いサービスを提供しています。

メキシコに関しては、2004年にKPMGジャパンから日本人会計士を駐在させ、日本企業支援体制の強化を図り、以来10年間にわたり、継続的にサービスを提供してきました。この間、メキシコは日本企業にとって戦略的に重要な投資国となり、特に2010年以降は、自動車産業を中心に日本企業のメキシコへの投資は著しく増加しております。日本企業のニーズにお応えすべく、現在では4名の日本人プロフェッショナルを駐在させております。

KPMGジャパンは、今後もこれまで以上にKPMGメキシコJapanese Practiceとの連携を強化し、明るい未来があるメキシコでのビジネスを強力にサポートし続けるため、メキシコでのビジネス環境の変化を着実に捉え、クライアントのニーズに耳を傾け、メキシコでの日本企業の成功に資するサービスの提供に努めていく所存です。



三浦 洋
有限責任 あずさ監査法人 専務理事
GJP統括パートナー

KPMG Global Japanese Practice(GJP)は、日本企業の海外事業展開を支援するKPMGが誇るグローバルネットワークです。この組織の目的は、KPMGグローバルネットワ

ークが有する経験、知識、情報、洞察を日本企業に最も有用な形でご提供することです。この目的を実現するため、今日では、500名を超える日本語対応可能なプロフェッショナルを世界の主要35カ国70都市に配し、担当地域のプロフェッショナルと連携し、会計監査、税務、アドバイザー等の幅広いサービスを提供しています。

GJP(本部)は、この10年間、人材育成の面でもKPMGメキシコJapanese Practiceの活動を支援しており、これまでに10名の日本人駐在員をKPMGメキシコに派遣しています(駐在経験者：三浦一郎(2004～2007)、吉田幸司(2007～2011)、東野泰典(1回目2007～2010)、上村紘之(2010～2013)、岩田稔(2010～2014)、立石政人(2011～2014))。また、現在、KPMGメキシコには4名の日本人駐在員が、それぞれ、メキシコシティ事務所に2名(東野泰典(2回目)、布谷三四郎)、ケレタロ事務所に1名(安崎修二)、ティファナ事務所に1名(貞國真輝)が常駐しております。

また、日本におきましては、メキシコデスクを設置し、駐在経験者がご本社のご相談にお応えしております。

今後も、KPMGメキシコJapanese Practiceと緊密に連携し、メキシコの日本企業に対する品質の高いサービスを機動的に提供すべく側面支援をする所存です。



CONTENT

02

KPMGからのごあいさつ

06

2009年までの日本からメキシコへの投資

07

2010年以降の日本からメキシコへの投資

08

投資先の経済セクター

09

なぜメキシコに投資し、製造するのか？

10

日本からの投資の受け入れ地区とメキシコにおける日本企業数



なぜ製造拠点が分散するのか？

12

メキシコの構造改革

13

日本企業にとってのメキシコ税務の主な特徴

14

KPMG Global Japanese Practice(GJP)

KPMGメキシコとKPMGメキシコ Japanese Practice

日本企業支援サービス

17

“

日本からの直接投資額は2010年から2013年に大きな増加を示しており、合計額は48.9億ドルにおよびます。

”



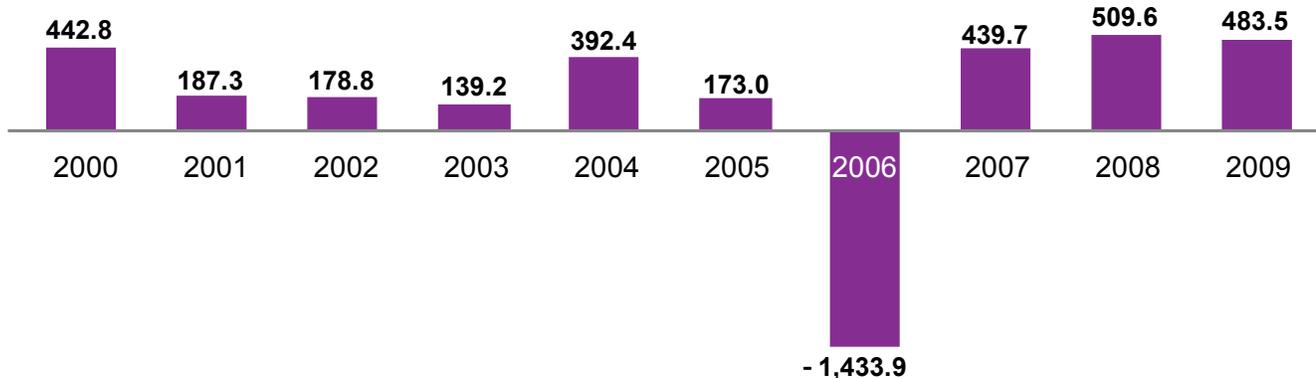
2009年までの日本からメキシコへの投資

この数十年、特に2011年以降において歴史的にみて日本からの投資は、メキシコ経済にとって重要となってきており、2009年から335%の成長を遂げています。日本からの投資がこれだけ成長するためには、メキシコで現在適用されている法律に関する深い知識、メキシコ国内での適切かつ効

果的に事業を行うためのベストプラクティスが必要となります。今世紀の始め、日本からメキシコへの投資は徐々に開始され、その投資先は特に電器産業でした。2000年から2009年にかけて、その投資純額は15億ドルにも上りません。2006年に大きな投資の引き揚げがあ

りましたが、これは中国における生産低コスト化や、いくつかの大きなテレビ工場や、そのサプライヤーの工場が閉鎖するに至った、電器産業の技術設計の急速な変化により引き起こされたものでした。

2000年から2009年までの日本からメキシコへの投資(百万ドル)



NYダウ 16401.02 -129.5

5 (時)

銘柄	単価	変化	銘柄	単価	変化	銘柄	単価	変化	銘柄	単価	変化	
003	現	517	現	901	現	3613	現	570	現	137	現	504
		-36			-15			-11				-16
009	始	529	始	903	始	3680	始	577	始	138	始	508
021	高	529	高	907	高	3684	高	580	高	139	高	510
003	安	516	安	901	安	3680	安	568	安	136	安	504
009	現	452	現	435	現	139	現	251	現	319	現	289
		-18			-9			-5				-9
010	始	450	始	437	始	141	始	254	始	320	始	295
018	高	456	高	439	高	142	高	255	高	322	高	296

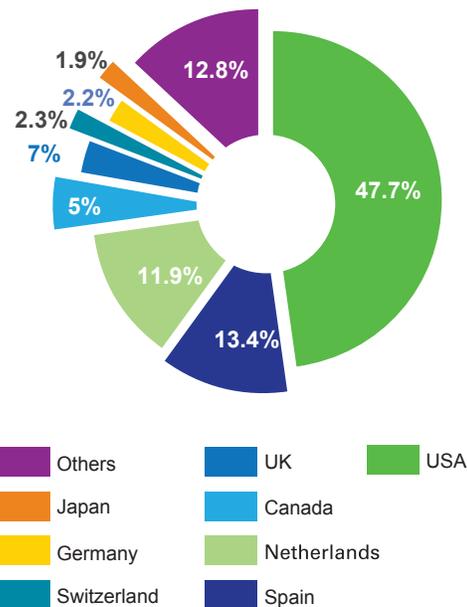
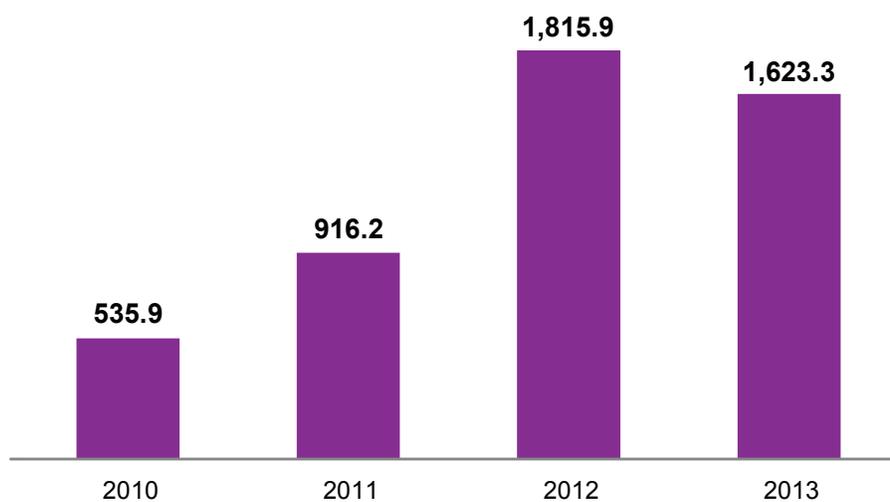
2010年以降の日本からメキシコへの投資

下のグラフでは、日本からの直接投資額は2010年から2013年に大きな増加を示しており、合計額は48.9億ドルにおよびます。

2000年から2013年にかけて、2006年の減少も含め、その投資純額は64億ドル(当該期間にメキシコになされた海外直接投資全体の1.85%に相当)であり、この額は全体で第8番目の規模となります。

メキシコへの直接投資 主な投資国 (2000-2013)

2010年以降の日本からメキシコへの投資(百万ドル)



Source: KPMG in Mexico with information from the Ministry of Economy of Mexico, 2013.

Source: KPMG in Mexico with information from the Ministry of Economy of Mexico, 2013.

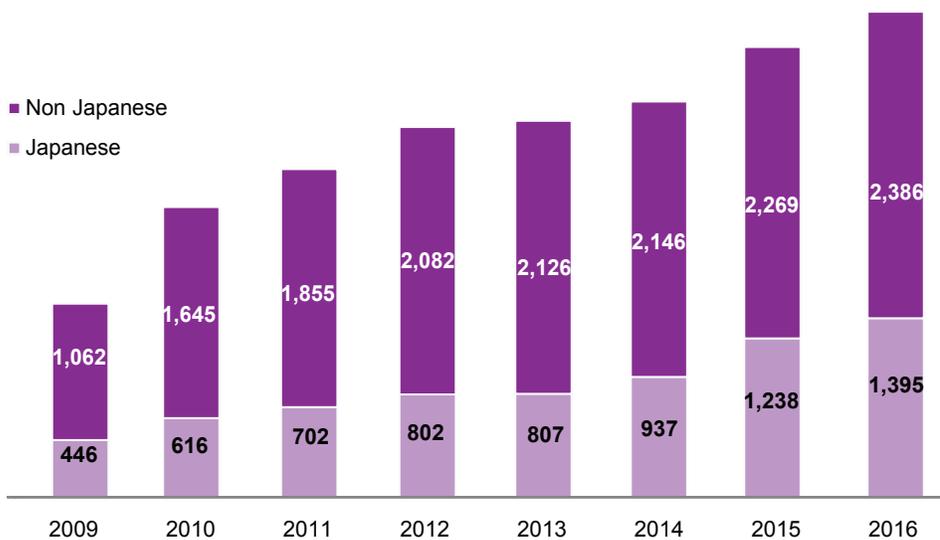
投資先の経済セクター

2010年以降、この数年間に自動車産業の様々な分野への投資が多くなされてきています。メキシコでよく知られた日系自動車メーカーによる投資が発表されており、その投資額は48.6億ドル以上となっています。自動車メーカーによるこうした投資活動や公表はTier1,2,3といった自動車部品サプライヤーによる更なる投資を促進しました。その結果、メキシコの自動車生産台数は2010年以降増加するとともに、今後も継続して増加していくことが見込ま

れます。2013年時点の日系自動車メーカーの自動車生産台数は80.7万台であり、メキシコの自動車生産台数全体における27.5%を占めています。

自動車業界という特定の業種への関心が注目されている以外にも、メキシコでは、電子産業、金属、加工食品、ハイテクノロジー製造といった、その他のセクターでも日本からの投資が報告されています。

2009年から2013年のメキシコ自動車生産台数実績と2014年以降の展望



Source: KPMG in Mexico with information from AMIA (Asociacion Mexicana de la Industria Automotriz) and Promexico.

日系自動車メーカーによるメキシコへの投資が発表されており、2010年以降、その投資額は48.6億ドル以上となっています。

なぜメキシコに投資し、製造するのか？

メキシコが、近年日本の魅力的な投資先となっている理由としては日本からの輸出における重要なターゲットであり、また世界最大の消費大国であり続けている米国に地理的に近いという点が挙げられます。また、メキシコには更に以下のような利点があります。

- 多くの国との二重課税を回避するための租税条約
- 輸出プラットフォームとしてメキシコを活用しながら、製造オプションおよび特典

を提供する、45カ国以上の国、または経済特区との自由貿易協定

- 近年、生活水準や生活コストの上昇してきた中国やアジア諸国と比較して、競争力の高い製造コスト
- 日本の商品を、アジアから直接、北米(主として米国)、南米、ヨーロッパの国々へ輸入するために必要な時間やコストに比べ、北米(米国)、南米、ヨーロッパの国々への輸送時間およびコストの削減が可能
- 高品質な労働力および製造力

メキシコが、近年日本の魅力的な投資先となっている理由としては日本からの輸出における重要なターゲットであり、また世界最大の消費大国であり続けている米国に地理的に近いという点が挙げられます。

日本からの投資受け入れ地区とメキシコにおける日本企業数

日本からの投資は、メキシコ国内のほぼ全地域に位置するとはいえ、バヒオ地域（メキシコ内陸部、アグアス・カリエンテス、グアナファト、ハリスコ、ケレタロ、サン・ルイス・ポトシ）に集中しています。これらの地域に集中する理由は以下の通りです。

- メキシコ湾と大西洋、また太平洋の港にも近接
- 優れた鉄道と物流道路の接続
- 国の経済活動人口の大部分が集中
- 州が設定する投資企業へのメリット
- 雇用創出および税収増加を目的とした州政府によって提供される日本企業へのタックス・インセンティブ
- 比較的犯罪率が低い地域であること

日本企業の所在する地域



Source: KPMG in Mexico with information from the Ministry of Economy of Mexico 2013.

“

メキシコの日本企業数は2009年から2013年に著しい増加を示しており、特にバヒオ地域が中心となっています。

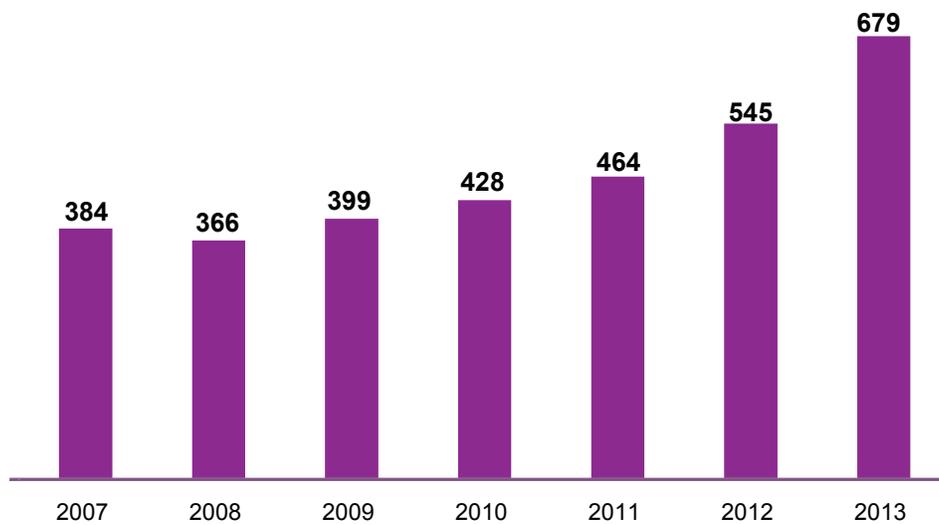
”

下のグラフでは、メキシコの日本企業数は2009年から2013年に著しい増加を示しており、特にバヒオ地域が中心となってい

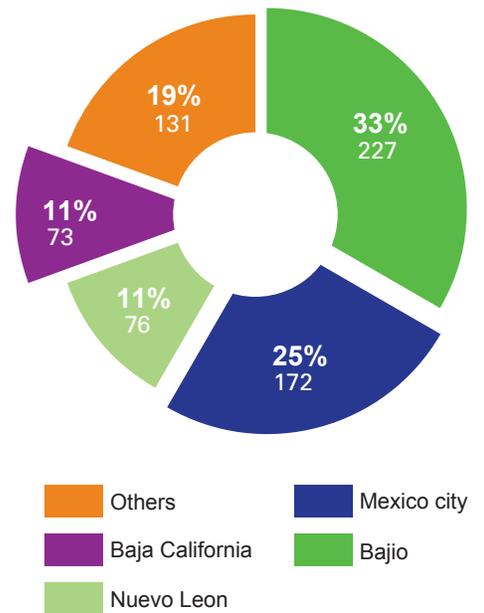
ます。2013年時点で、バヒオ地域の日本企業数は277社であり、その数はメキシコの日本企業数全体の33%を占めています。

2013年時点の地域別の日本企業数

2007年から2013年のメキシコの日本企業数



Source: KPMG in Mexico with information from Ministry of Foreign Affairs of Japan.



Source: KPMG in Mexico with information from Ministry of Foreign Affairs of Japan.





なぜ製造拠点が分散するのか？

以上に挙げたメキシコ固有の優位性は、日本の産業界において次のような諸問題が進行する中で、確立してまいりました。

- 人件費の高騰：日本は、近年では世界の製造業における最も製造コストが高い国の一つであり、製品やサービスのコストに直接的な影響を与えている。
- ここ数年の円高の進行。これに伴い人件費も上昇。
- 日本だけで製造することの影響。2011年の東日本大震災により多くの企業が影響を受けた、部分的、場合によっては完全に寸断された多くの製品の生産、部品の組み立てもしくは主要備品の日本における組み立て
- 経済活動人口の減少

こうした諸問題により、日本の大企業は、サプライチェーン戦略の再考を余儀なくされました。つまり、彼らの製品やサービスを必要とする世界中のマーケットに対し、新製品開発、設計、製造、組み立て、流通施設の場所をどこにするのかといった戦略を考え直さなければなりません。



メキシコの構造改革

メキシコでは、2013年以降、ペニャニエト政権のもと様々な構造改革が実行されています。特に、エネルギー改革はエネルギーセクターの一部を民間企業へ開放する

ものであり、世界中の企業の多大な関心を集めています。日本企業にとってのメキシコへの投資の機会、自動車産業のみならず、他の産業にも多く存在します。



日本企業にとってのメキシコ税務の主な特徴

日本企業にとって、会計、税務、労務などにおいてメキシコ特有の制度やルールがあり、特に税務についてはメキシコと日本で多くの異なる点があります。日本企業は、投資にあたり、これらのメキシコ特有の制度やルールに留意しなければなりません。

メキシコ税務の主な特徴

- ・ 形式主義(領収書、デジタルインボイス、Informative returnなど)
- ・ 会計年度(12月決算)
- ・ 会計帳簿の要件(スペイン語、ペソ建てによる記帳など)
- ・ 法人税申告(月次予定納税、年次確定申告など)
- ・ 付加価値税(月次確定申告、還付・相殺手続など)
- ・ 税務メールボックスおよび電子会計
- ・ 月次会計情報の提出
- ・ 移転価格(移転価格レポート、マキラドーラ制度など)
- ・ 源泉税(利息、ロイヤリティー、テクニカルアシスタントフィー、配当、株式譲渡など)
- ・ 頻繁な税制改正
- ・ 個人所得税(全世界所得課税、183日ルールなど)
- ・ タックスレポートと税務調査
- ・ PTU(労働者分配金)
- ・ アンパロ(メキシコの訴訟制度)

日本企業にとって、会計、税務、労務などにおいてメキシコ特有の制度やルールがあり、特に税務についてはメキシコと日本で多くの異なる点があります。

KPMG Global Japanese Practice (GJP)

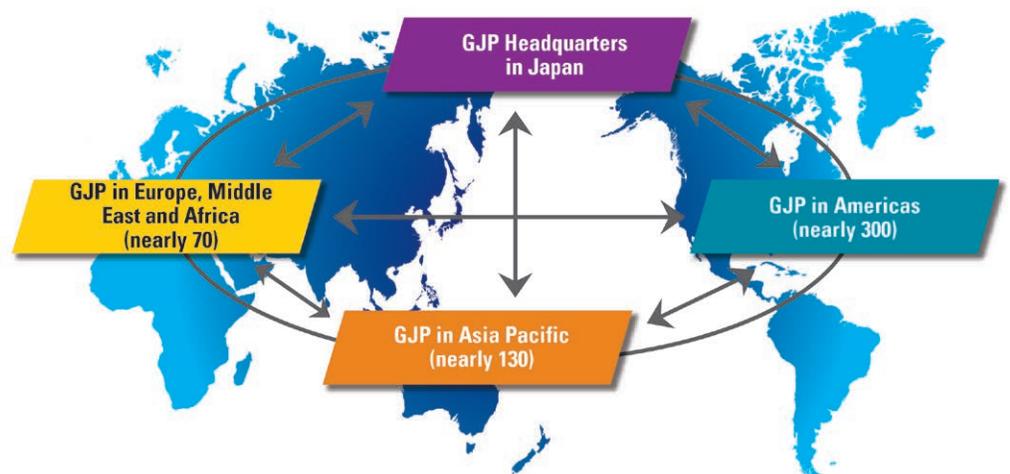
KPMGは、8,600名を超えるパートナーを含む約155,000名のプロフェッショナルを擁し、世界155カ国においてクライアントにサービスを提供しています。

また、KPMGは、日本を含むKPMGインターナショナルのメンバーファームとも、緊密な協働体制を築いています。これらのメンバーファームの多くは、先進諸国で業務を行っていますが、KPMGは、ラテンアメリカ、中国、インド、ロシア、中央・東ヨーロッパ等の新興地域においても積極的に事業展開をしています。KPMGのスペシャリストは、企業組織全体を通じた事業価値

向上に貢献する客観的なアドバイスを提供します。

KPMG Global Japanese Practice(GJP)は、日本企業の海外企業を支援するKPMGのグローバルネットワークです。KPMGは、日本企業の海外事業展開をこまやかに支援するため、世界の主要35カ国70都市に、約500名の日本人および日本語対応が可能なプロフェッショナルを配しています。このようなプロフェッショナルを中心に、担当地域の各分野に精通した専門家チームと連携し、海外現地法人に対して、会計監査、税務、トランザクションサービス、財務アドバイザー、リスクコンサルティング等の幅広いサービスを提供しています。

Network of KPMG Global Japanese Practice





KPMGは、監査、税務、アドバイザリーの各サービスを、クライアントのニーズに則して、一体的に提供する体制を構築し、企業の広範な事業活動を支援します。

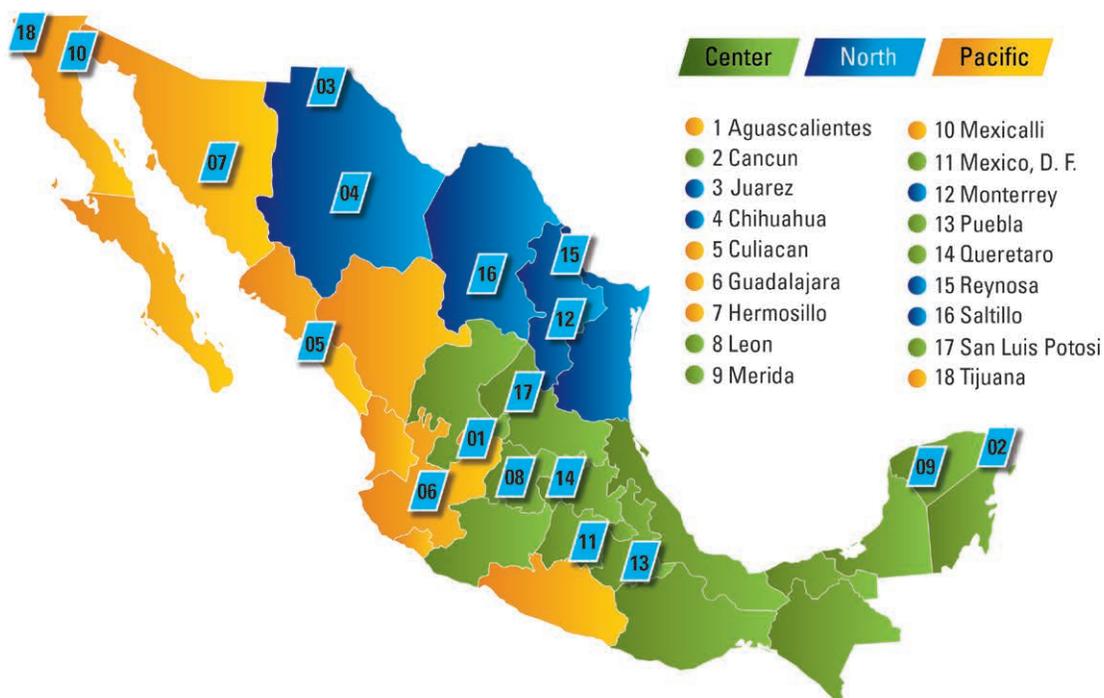


KPMG メキシコとKPMG メキシコ Japanese Practice

KPMGメキシコは、180名のパートナーを含む総勢2,800名のプロフェッショナルを擁し、メキシコ全土において戦略的に18カ所の事務所を配置し、監査・税務・アドバイザリーの各サービスを地場企業、国内大手および多国籍企業にサービスを提供しています。

KPMGメキシコJapanese Practiceは、KPMG Global Japanese Practice(GJP)のネットワークの一員として、世界各国のバイリンガル・プロフェッショナルと連携してサービスを提供しています。

KPMGメキシコの国内事務所一覧





日本企業支援サービス

現在、KPMGメキシコにはKPMGジャパンから派遣された4名の日本人駐在員が、それぞれメキシコシティ事務所に2名、ケレタロ事務所に1名、ティファナ事務所に1名常駐しております。これらの日本人駐在員は、メキシコで事業活動を行っている日本企業やメキシコへの投資を検討している日本企業に対して、日本語でサービスを提供しています。

KPMGが提供する主なサービス

KPMGは、監査、税務、アドバイザリーの各サービスを、クライアントのニーズに則して、一体的に提供する体制を構築し、企業の広範な事業活動を支援します。

- 財務諸表監査および関連業務
- 内部統制監査サービス
- 法人税サービス
- 移転価格サービス
- 個人所得税、間接税サービス
- 内部監査およびリスク・コンプライアンスサービス
- リスクマネジメントサービス
- 合併・買収関連サービス
- 会社清算業務
- ビジネス・パフォーマンス評価サービス
- フォレンジック・サービス
- セミナーおよび社員教育

CONTACT

Mario Fernandez

Lead Partner

Japanese Practice
T: +52 (55) 52 46 85 96
E: fernandez.mario@kpmg.com.mx

Yasunori Higashino

Senior Manager

Japanese Practice – Mexico City
T: +52 (55) 5246 8340
E: yasunorihigashino@kpmg.com.mx

Sanshiro Nunotani

Manager

Japanese Practice – Mexico City
T: +52 (55) 5246 8496
E: sanshironunotani@kpmg.com.mx

Shuji Yasuzaki

Senior Manager

Japanese Practice – Queretaro
T: +52 (442) 384 4036
E: shujiyasuzaki@kpmg.com.mx

Masateru Sadakuni

Manager

Japanese Practice – Tijuana
T: +52 (664) 608 6504
E: masaterusadakuni@kpmg.com.mx



**SUPER
EMPRESAS
EXPANSION
2014**



**EMPRESA
SOCIALMENTE
RESPONSABLE**



**Premio en la Categoría:
Gestión Ética de la Empresa
Programa Client Care**



@KPMGMEXICO



KPMG MÉXICO



KPMGMX

Throughout this document, "KPMG" ["we," "our," and "us"] refers to KPMG International Cooperative ("KPMG International"), a Swiss entity, and/or to any one or more of the member firms of the KPMG network of independent firms affiliated with KPMG International. KPMG International provides no client services.

© 2014 KPMG Cardenas Dosal, S.C. the Mexican member firm of the KPMG network of independent member firms affiliated with KPMG International Cooperative ("KPMG International"), a Swiss entity, Blvd. Manuel Avila Camacho 176, Mexico, 11650. All rights reserved. KPMG, the KPMG logo and "cutting through complexity" are registered trademarks of KPMG International. All rights reserved.